

令和7年度 事務事業評価シート（１）

〔 令和6年度事務事業 〕

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	予防接種				事業番号	011-228	
担当部署名	健康福祉	局	保健所	部	感染症対策		課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	—		施策	—		
			無	取組の方向性	—					
		寄与するKPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		
	堺市SDGs未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	—		ターゲット	—		
			無	取組	—					
		寄与するKPI	有・無	指標名	—					
			無	現状値	—		目標値	—		
2	関連計画									
3	事業開始年度			昭和 23 年度		点検対象年度		令和 7 年度		
4	実施根拠			予防接種法						

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁					
6	事業の対象	予防接種法施行令に定める対象者及び市独自助成の対象者（延べ約87万人）				対象数	単位
						約87万	人
7	事業の目的	予防接種により、国民全体の免疫水準を維持し、伝染の恐れのある疾病の発生及びまん延を予防し、公衆衛生の向上及び増進に寄与する。					
8	事業内容	○定期予防接種（予防接種法第5条） ・A類疾病にかかる予防接種…BCG、五種混合、四種混合、三種混合、二種混合、ポリオ、麻しん風しん混合、麻しん、風しん、日本脳炎、ヒブ、小児の肺炎球菌、子宮頸がん、水痘、B型肝炎、ロタの予防接種を、それぞれ対象年齢の者に対し、無料で実施する。 ・B類疾病にかかる予防接種…インフルエンザ及び新型コロナウイルス感染症の予防接種を65歳以上の者及び内部疾患の60～64歳の者に対し、一部自己負担（低所得者は無料）で実施する。また、肺炎球菌の予防接種を、65歳の過去に接種歴の無い者に対し、接種費用の一部自己負担（低所得者は無料）により実施する。					
	※国・府の基準より上回って実施した内容	○任意予防接種の助成 肺炎球菌の予防接種を、66歳以上となる者（過去、平成26年10月1日以降に当該助成事業を利用した者は除く）に対し、接種費用の一部自己負担（低所得者は無料）により実施する。					
9	主な支出先	一般社団法人 堺市医師会ほか					
10	公民連携・協働事業						

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

	成果指標	単位		実績		目標	目標	点検対象年度
				令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度	
11	麻しん集団発生件数	件	目標値	0	0	0	0	
			実績値	0	0			
			達成率	—	—			
	当該指標を選定した理由	国において、麻しんの感染力及び重篤性並びに流行した場合に社会に与える影響等を踏まえて、「麻しんに関する特定感染症予防指針」を定め、排除状態の維持を目標としているため。						
目標値の設定根拠・算出方法	国の「麻しんに関する特定感染症予防指針」で、排除状態の維持を定めているため。							
12	活動指標	単位		実績		目標		
			令和5年度	令和6年度	令和7年度			
	麻しん（麻しん風しん混合）予防接種の接種率	%	目標値	95	95	95		
			実績値	94	92			
			達成率	99%	97%			
	当該指標を選定した理由	国の「麻しんに関する特定感染症予防指針」で、感染力が非常に強い麻しんの発生予防の最も有効な対策を予防接種による免疫獲得と定めているため。						
	目標値の設定根拠・算出方法	国の「麻しんに関する特定感染症予防指針」で、接種率目標（95%以上）が明確化されているため。						

令和7年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	予防接種	事業番号	011-228
-------	------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト					※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。					(単位：千円)			
13	財源内訳	項 目	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度				
			決算		決算		当初予算		当初予算				
	事業費（a）		7,453,583		4,151,488		3,462,544		3,285,589		4,420,646		
	国支出金		5,151,737		1,962,483		355,101		569,644		455,585		
	府支出金		164,458		218		1,257		417		2,362		
	市債		0		0		0		0		0		
	その他（ 手数料、返納金等 ）		3,541		17,670		200		1,757		0		
	受益者負担金(使用料、手数料等)		0		0		1		1		0		
	一般財源		2,133,847		2,171,117		3,105,985		2,713,770		3,962,699		
14	人件費（b）		211,200		125,400		56,800		48,820		32,400		
15	年間経費（c）=(a)+(b)		7,664,783		4,276,888		3,519,344		3,334,409		4,453,046		
事業費の内訳												(単位：千円)	
16	事業費内訳	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源		
			R6	決算				R6	決算				
		消耗品費（枠）		R6	決算	1,360,640	1,360,640	事務管理費		R6	決算	40,526	40,526
				R7	予算	1,134,684	1,134,684			R7	予算	36,451	36,451
		新型コロナウイルスワクチン予防接種健康被害医療費等負担金		R6	決算	182,762	0	ワクチンコールセンター・事務処理センター運営業務委託料【コロナ対応】		R6	決算	37,343	37,343
				R7	予算	455,218	0			R7	予算	11,021	11,021
		インフルエンザ予防接種業務		R6	決算	517,805	517,805	高齢者の肺炎球菌ワクチン予防接種業務		R6	決算	32,458	32,458
				R7	予算	567,678	567,678			R7	予算	7,397	7,397
		新型コロナウイルス予防接種業務		R6	決算	516,005	193,318	麻しん風しん混合予防接種業務		R6	決算	16,439	16,439
				R7	予算	1,491,314	1,491,314			R7	予算	38,752	38,752
子宮頸がん予防ワクチン接種業務		R6	決算	82,359	82,359	その他（役務費等）		R6	決算	499,252	432,882		
		R7	予算	36,812	36,812			R7	予算	641,319	638,590		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費					
17	区 分			単位	令和5年度
					令和6年度
	①	乳幼児の定期予防接種者数		人	78,781
	②	上記①にかかる年間経費		千円	395,293
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）		円/単位	5,018
算出についての説明等		ヒブ、小児用肺炎球菌、四種混合、五種混合、B型肝炎における接種者数①、ワクチン代合計は②			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見	
18	事業の大半を占める乳幼児期の予防接種について、令和6年度からヒブと四種混合が1つになった五種混合が定期接種化されたことを鑑みても、令和6年度は令和5年度と比較して、少子化による接種対象者の減少に伴う接種者数の減少が見られた。一方で、五種混合のワクチン代がヒブと四種混合のワクチン代合計額を上回ることから、年間経費と単位当たり経費は共に増加した。今後も、接種できる医療機関の確保や未接種者に対する接種勧奨、広報による周知活動等を継続することで接種を推進し、また、競争入札等によりワクチン調達にかかる経費の縮減に努める。
KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）	
19	予防接種により国民全体の免疫水準を維持し、多くの人を感染症から守るためには、予防接種の接種機会を安定的に確保するとともに、社会全体として一定の接種率を確保することが国民の命を守るために重要である。 活動指標に記載のとおり、麻しん（麻しん風しん混合）予防接種の接種率は令和6年度92%であり、令和5年度94%と比較して2%減少した。減少理由については、令和6年度の麻しん風しん混合ワクチンの供給不足によるものと考えられる。今後、接種率を上げるため、保育施設にて対象児への周知（麻しん風しん混合予防接種第2期）及び予防接種の啓発に努める。